メニューへ戻る

R1 SG 台湾 FW

11/20（水）

研修 15 日目。本日はいよいよ岩手へ帰る日です。8 時 30 分に i ハウスのロビー集合。全員遅れることなく揃いました。ロビーでは 2 週間お世話のなったガイドの黄さんに、生徒から感謝の気持ちを色紙に寄せ書きしてプレゼントをしました。本当に黄さんにはお世話になりました。生徒たちもみんな黄さんが大好きでした。 i ハウスの研修でお世話になった李さんと、最後に集合写真を一枚。李さんに見送られながら i ハウスに別れをつげ、バスは一路、桃園国際空港へ。バスの中で黄さんから、「豚コレラの関係で台湾から肉類の持ちだしができませんよ。」と告げられ、一同唖然！生徒は自分が買ったお土産が持ち出せるのか、黄さんに確認。残念ながらお父さんへのお土産として牛肉麺とビーフジャーキーを買った生徒は泣く泣くおいていくことに。我々もビーフジャーキーを持ち出せず。全て黄さんへのプレゼントになりました。今はショックのほうが大きいですが、いつかは笑い話になることでしょう。

出国手続きでは、スーツケースの重量オーバーもありましたが、スーツケースの中身をほかの生徒の手荷物として分けて預かってもらいクリア。協力体制ばっちりの仲間たちです。機内では最後の台湾食「油葱鶏肉飯」を食べ、そのあとは 2 週間の疲れもありほとんどの生徒が就寝です。本当頑張ったね。

時間を少し戻して、昨夜の話をします。夕食後 i ハウスの研修室で、みんなでアイスクリームを食べながら、研修のまとめを行いました。一人ひとり今回の研修で学んだこと、感じたことを話してもらい、その想いを共有しました。「これまで将来の進路が見えなかったけど、この研修を通して将来に対していろんな気づきがあった。」「もっと英語や中国語を学びたくなった。」「今までの自分の性格を顧みて、かわっていかなければならないと再認識した。」など、課題研究で得た知見だけでなく、進路のこと、日本と台湾の関係、これからの生き方など、今感じていることを話してくれました。今回の研修を通して、多くのことを見て、学び、感じ、そしてそれを吸収し自分の中に取り込みながら、内面的に成長してくれたこと、そのことを強く実感しました。生徒の思いが共有できたとても心地の良い夜になりました。

さて飛行機花巻空港に到着です。久し振りの家族との再会。同じ 15 日間を過ごしても、感じ方は一人ひとり違います。保護者の皆様、お子さんの台湾物語をぜひ聞いてみてください。きっと、「あれ、ちょっとかわったかな」と思ってくれるに違いありません。

この 15 日間、陰でいろいろと支えてくださいました保護者の皆様、本当にありがとうございました。またこの研修に関わったすべての方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。　謝謝！　感謝（ｶﾑｼｬ）！　Thank you!